

彦根東高校新聞

速報新聞
発行所
彦根東高等学校
新聞部
キマクレ
彦根市金亀町4番7号

村中隆之監督

平成23年(2011年)に監督に就任。監督就任後のセンバツ出場は2009年以来、2回目となる。昨年の夏の甲子園ではチームを初勝利へと導いた。座右の銘は「本気になれば世界が変わる」。

赤鬼の春Ⅱ

生。彦根から2校が選出されたことについて「今までの歴史の中で初めてのこと。同じ市の良きライバルとして、切磋琢磨し合う高校と同じ大会に出られるのは喜ばしいことだ」とコメントを寄せられた。村中監督は「一つ一つ勝ち上がり、滋賀初のセンバツでの優勝旗をもたらすことが目標。東高を選んでよかったと思ってもらえるような姿を見せたい」と意気込みを見せられた。

近江・彦根東

彦根市から**2校選出**の快挙

彦根東
9年ぶり
4回目の出場



▲彦根東の村中監督

彦根東・村中監督
センバツへの展望を語る

「出場を信じてきたので決まっ
てうれしい。選んでいただけた
以上は覚悟を持って自分たちの
『目指す野球をしたい』と今の心
境を話される監督の村中隆之先
生について「今までの歴史の中
ライバルとして、切磋琢磨し合う
喜ばしいことだ」とコメントを寄
つ勝ち上がり、滋賀初のセンバツ
標。東高を選んでよかったと思っ
と意気込みを見せられた。

彦根東高校は21世紀枠で選出された2009年の第81回大会以来9年ぶり4回目のセンバツ出場となった。本校野球部は昨年の秋季大会で県3位

という成績を収め、近畿大会では、準々決勝で敗れたもののベスト8という成績を収め、センバツ出場を掴んだ。

内希君 (2—8)

した。

卷き起こせ赤鬼旋風

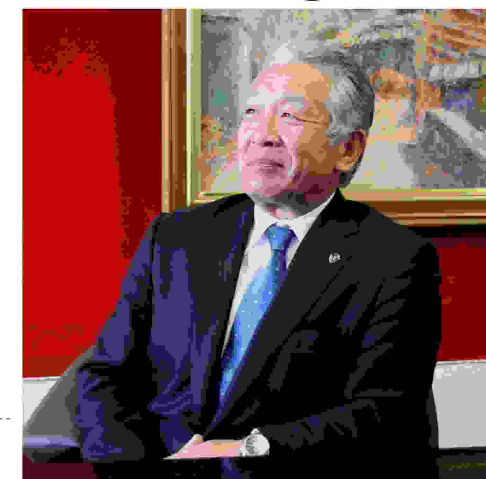
湖国の侍いざ春へ

センバツ選考委員会より三月二十三日から十三日間行われる第九十回選抜高等学校野球大会（春のセンバツ）の出場校が発表され、近江高校の三年ぶり五回目の出場が決定した。

回戦、三回戦と必ず勝ちあがりたいたい」とセンバツ出場決定の喜びを語った。

近江高校野球部の最大の武器ともいえる守備のトップ、中尾雄斗君（二年生）は甲子園での戦い方について「近江高校野球部は後半の集中力が切

また、副キャプテンの若木寿弥君（二年生）は、「誰かのためではなく、チームのために勝ちたい。このチームのために自分では頑張る」と甲子園での戦いへの意気込みを語った。



▲近江高校の多賀監督

近江・多賀監督 春5度目、熱き決意

要を担う北村恵吾君（二年生）は「とにかく嬉しかった。センバツまでに少しでも成長して二

れてくるような場面でも集中して戦えるので、そこを活かして甲子園の舞台で戦いたい」と全国の舞台で戦うための準備は着々と進んでいるようだった。

今年で五回目となる春のセンバツへの出場を決定づけた秋季近畿大会での好敵手、彦根東との戦いについて多賀監督は「一点差の白熱した試合の中で勝てたことは大きい。春のセンバツではベスト8を目指して戦いたい」と仰りました。

しかし近江高校がベスト8まで進んだことは過去一度きりで、近年では二回戦敗退というケースが多い。多賀監督は「ベスト8まで進むには今までよりも攻撃力を意識した攻める野球が必要だ」と今までの全国レベルの守備力だけではなく、攻守のバランスが大切だと話された。選手たちには昨日の自分に打ち勝ち、大いに成長することを期待されている。

多賀章仁監督

平成元年に監督に就任され、これまでに夏の甲子園に11回、春のセンバツに4回導いた。今年で監督に就任され30年の大きな節目を迎える。

速報新聞
発行所
近江高等学校
新聞部局

彦根市松原町3511-1